

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

1. 担当者

2. 学校概要

学校名 大仙市立大曲南中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒014-1412

秋田県大曲市藤木上野中70-2

E-mail : om-minamityu@edu.city.daisen.akita.jp

Website : http://www.edu.city.daisen.akita.jp/~om-minamityu/

児童生徒数：男子 56名 女子 53名 合計 109名

児童・生徒の年齢 12歳～15歳

3. 実施活動

地球規模の問題に対する国連システムの理解

持続発展教育 (ESD) (国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動
生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 そのほか ()

そのほか ()

4. 活動概要

平成23年度「環境教育に関する取組を活用した調査研究」（文部科学省）の指定を受けて、本校では環境教育からESD迫るため、エネルギー、国際理解、食育の3つの視点で環境教育に取り組んでいる。

今年度の主な取り組みは、

- ① 学校全体、教育課程全体でのESDを推進するため、「エネルギー」「国際理解」「食」を軸とした環境ESDカレンダーを作成し、総合的な学習の時間と各教科との連携を取りながら、学校教育活動全体でESDに取り組んだ。
- ② 県内のユネスコスクールである秋田商業校と連携し、「国際理解から環境を考えるワークショップ」を2回実施した。1回目のメインファシリテーターはNGO RACICA 雫石まどか氏であったが、高校生がサブとして、中学生の中に入ってワークショップを行った。2回目は、高校生がメインとなり「震災ボランティア」「ネパールスタディーツアー」「世界の貧困」というワークショップを行った。
- ③ 全国小中学校環境教育研究大会（11月）等で、本校の取り組みを発表した。
- ④ 小・中連携で環境学習に取り組み、11月にオープンスクールを開催し、成果を公開した。
- ⑤ 講演会、出前授業、施設見学等、外部からの専門的な知識や活動を取り入れた。（積水ハウス、産業技術総合研究所、日本風力発電協会、東北電力等）
- ⑥ 生徒対象の講演会（オーロラ写真家松本紀生氏、NPO法人ねおす宮本英樹氏、元海外青年協力隊島山正俊氏、大曲農業高校博士課程教員大沼克彦氏）を実施した。
- ⑦ NGO RACICA と連携し学校祭で「オフセットカフェ」に取り組んだ。収益金をNGO RACICA を通じて、ネパールの孤児院にソーラーランタンを送るために役立ててもらった。
- ⑧ 地域への積極的な発信（環境通信「ESDom」の発行）を行った。
- ⑨ P T A 対象の食育講演会（教育家庭新聞社伊勢美穂子氏）を行った。
- ⑩ 一級建築士松塚智宏氏による「未来の家、街を設計しよう！」出前授業を実施した。
- ⑪ 給食の残飯から作った肥料を利用しての有機野菜栽培を行った。
- ⑫ デジタル紙芝居「地球大改造！劇的ビフォーアフター」を、小学生を対象に実施した。
- ⑬ 活動の成果が認められ「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」「第6回エネルギー教育賞優秀賞」を受賞した。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ ）

今年度の活動結果について（下記から選択して下さい。）

- 大変効果的な活動ができ、大変満足。 効果的な活動ができ、満足。
 効果的な活動ができず、やや不満が残る。

どのように活動を学校のプログラムに盛り込んだか記載願います。

添付資料①「環境ESDカレンダー」

今までの活動の中で、教育の質の向上に効果のあった活動がありましたら、記載願います。

本年度から、環境教育の中に食育を取り入れて取り組んできた。日本は食料自給率が40%と低い。「食」は経済や国際協力、人種問題、エネルギー等と深く関わりをもつものであり、地産地消は環境問題の解決につながることを学んだ。実際に野菜を栽培したり、省エネクッキングの講座を受けたりすることで、自分は何ができるのかを深く考える学習ができた。また、外部講師を招いての講演会や出前授業は、生徒の環境意識の向上だけでなく、知識をもとにした行動力へもつながり、教育の質の向上に効果があったと思われる。本校での活動の総まとめとして、オープンスクール（学校公開）を行い、中学3年生が「自然エネルギーVS原子力」というディベートを行った。プレゼンテーションと実験、討論を組み合わせることで、活用する力（思考力、判断力、表現力）の向上につながった。環境教育が「生きる力」の育成に大きな成果をもたらしたと思われる。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など） CD-ROM 写真
 活動で作成した作品 図面 展示物、公開作品
 その他（ ）

※取り組みや関連資料については、

本校ホームページの環境教育コーナーに掲載されている。

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

- 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。

- 実施テーマに関連した研究旅行の実施。

- 他国の学校との交流や相互協力の実施。(特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。)

- 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な 10 年を記念する取組の実施。(国際母語の日、国際天文年、識字の 10 年など)